

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : トンプソンリバーズ大学

留学期間 : 平成 27 年 4 月 24 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日

一年間カナダのプリティッシュコロンビア州カムループス市にあるトンプソンリバーズ大学へ一年間留学をしました。この留学を通して英語力の向上に加え、物事を考える新たな視点を得ることができました。

この留学が私にとって初めて日本から外に出る機会となりました。日本でも英語を使う機会は授業以外にありませんでしたので留学序盤は簡単な日常会話にさえも戸惑いました。最初は会話の中でいくつかの知っている単語をちらほらと聞こえてきましたがそれらの単語以外の部分は何を言われているのか聞き取れなかったため、たびたび間違った意味でとらえていたり、あるいは全く理解できなかつたりしました。一年という限られた期間でしたのでできるだけ早く、多くの人たちと交流しようとしていたので、そのような状況に焦りを感じましたが、留学を終えた今はコミュニケーションの道具として使えるようになりました。ホストファミリーや友人との毎日の会話、そして学校の授業を通して英語力は留学以前に比べ大きく向上したと感じています。英語が使えることは大きなメリットです。もちろん留学以前から英語が話せるということは有利だと考えていました。しかしそれは自分のキャリアや将来のビジネスのためという限られた点でのことでした。しかし実際英語を日常的に使うようになると英語を使用するメリットにもうひとつ重要な点があることに気づかされました。それは日本人以外の世界中の人々と意思疎通ができるようになるという点です。私は日本にいるときには海外の人と交流する機会は数えるほどしかなく、日常的に会話する人はほぼ全員が日本人です。確かに人それぞれ違った考えを持っていますが、日本人という枠の中での思考です。英語が話せるということは、日本人の思考に加えて世界中の思考に触れることができるということです。トンプソンリバーズ大学は世界中の国から多くの留学生を受け入れている大学でしたので何カ国もの人たちと関わりを持ち、今までにはないより多くの考え方に会うことができました。

また、留学をした時間は自分自身について一度ゆっくりと考え直す機会になりました。日本では日々学校・部活動・バイトで埋まっていて毎日しなければならないことに振り回されていました。できないこと、苦手なことに対してはネガティブにしかとらえられず、自己否定をすることが多かったです。しかし、この留学を通して失敗もまたひとつステップアップするための通過点なのだと考えることができるようになりました。留学初期は言葉が分からないので失敗することも多かったです。しかし、多くの周りの人たちにサポートしてもらいました。留學生活のなかで、初めはできないことを一つひとつ克服して最後にはできるようにする、その失敗はあるけれども成功に向かう過程、そして目標を達成したときの喜びを感じることができました。日々のルーティンワークからは得られない非日常の中で得られるものです。この「何かを達成する」という経験を自己否定的な考えに照らし合わせて過去の失敗も成長するためのひとつの出来事だったのだと前向きに考えられるようになりました。今までとは全く違った環境で、全く違った考え方を持つ人と出会い、その時間でより前向きに考えられるようになったことは、留学で得たものの中で最も大切なもののひとつです。数値となって違

いが目に見えてわかるというものではありませんが、これは本当に大切なものだと感じています。

この留学は一年間という短いものでしたが、これからの人生に大切なことをたくさん得ることのできた一年でした。留学をするかどうか迷っている人には、ぜひ留学することを勧めたいです。私自身は日本の大学を休学しての留学でした。そのため一学年同じ回生の人たちよりも卒業が遅れることになります。それでもこの留学は私にとって大変重要なものでした。多くのことを学べた留学ですが、留学前にしておけばさらに濃度の濃くなっただろうということもあります。それはやはり英語です。留学の際には、ある程度事前に英語を勉強しておく、より充実した留学生活がおくれると思います。その英語も、テストでいい点数をとるための英語ではなく、会話を続けるための英語です。質問されたことに対して長い時間考えて文法知識を駆使して複雑な返答をするのではなく、シンプルな返答を会話のテンポを遅らせることなく話せる練習がいいと思います。会話の練習を事前に行っていた人は最初からスムーズに英語で会話をする事ができていました。もう一つ大切なこととして、日本人としての自覚を忘れないことです。日本にある礼儀やルールが海外ではないことがありますが、基本的なマナーはどの国でも同じだと感じました。一人の日本人のイメージがその国のイメージに結びつくこともあります。海外の友人も「日本人は礼儀正しく誠実だ」と言ってくれました。留学では海外の新鮮さに学び、自分を変化させることと、日本人としてのアイデンティティを大切に客観的に海外をみるという二つの視点が留学を成功させるのに不可欠なものだと思います。